

2012/10/28 長崎市提案型協働事業 中間報告・2次審査会 アンケート集約

性別	年代	事業名					提案型協働事業に関する意見・感想	提案して…		参加して	
		団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業	地域のおもちゃ箱発掘事業	慢性腎臓病（CKD）予防普及啓発事業	現川町地域の活性化に向けた美化推進事業	市民後見人の候補者養成および成年後見制度普及事業		まちなか魅力新発見事業	感想	理由	感想
1	男	20			CKDの周知の必要性は伝わってきたが周知の方法についてのイメージがあまり伝わってこなかった	団体と担当課の方向性が同じ方向を向いていると感じた	養成講座を受けて後見人として活動できるようになった方へ早い段階で実践できる場の提供をできるかがポイント				
2	男	40			事業の意図から方法へのつながりが伝わりづらかった発想はおもしろい（キャラ）	各団体のやりたいことはわかるが協働という点でわかりづらかった。今後はどうなるのかが微妙のような気がした	行政と団体の温度差が大きいように感じる	団体と行政との関わりの難しさが実感できた	みたくない	ふつう	
3	男	40						様々な地域課題に取り組む事業として協働事業は必要であり、提案制度は必要。大変勉強になった。			
4	男	70				何もかも行政に依存しようとする風潮のある今日、地域と市が連絡をとってやるのが非常に有意義だと思う。					
5	男	30	事業終了後の継続的な取り組みに期待	協働事業をやりながら方向性を模索していく協働事業のオーソドックスなものと思った。		協働のモデルとしてはいいと思う。事業の性質的には委託というよりは補助のような気がした。	将来確実に来る高齢化社会の問題に対応するためのソフト（人的）投資事業。長崎は全国平均をはるかに上回る高齢化が進んでいるのに、現実的にこの分野の取り組みが弱いと聞いているので、長崎市だけでなく他の市町のモデルとなるよう期待します。	事業の成果物の具体的な活用方法がよくわからなかった。		とてもすばらしい制度になっていると思う。	とてもよかった
6	女	30	わかりやすいプレゼンだった。最後に団体が言っている地域の担い手としての役割というのを聞いてすごいなと感じた。この活動がこれからも継続・発展していくといいと思う。	子育て中は何もできないのではなく、子育て中の自分たちも社会資源になれると実感できる活動だと思う。子育て中に保護者が孤立しないように色々な選択肢があるといいので、この活動はその一つとしてとても大きな役割があると思う。		地域のやる気を感じた。	問題点がまとまっていて、わかりやすかった。プレゼンの時間配分がちょっと残念。	プレゼンの内容はわかりやすかった。パワポの内容をばらして見やすくしたらもっとよかったと思った。		協働は大変ですがとても勉強になった。市民提案を聞くだけでも自分の知らない長崎の活動にふれることができよかった。委員長のコメントが胸に残った。	

性別	年代	事業名					提案型協働事業に関する意見・感想	提案して…		参加して			
		団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業	地域のおもちゃ箱発掘事業	慢性腎臓病 (CKD) 予防普及啓発事業	現川町地域の活性化に向けた美化推進事業	市民後見人の候補者養成および成年後見制度普及事業		まちなか魅力新発見事業	感想	理由	感想	理由	
7	女	40	十八銀行などで読めるなら、そこに応募箱とアンケートがあれば回答数は増えるのでは。	サークルは一年で成長が著しく世代交代はいつも課題だと思っていた。大変よいことなのでリーダーがうまくかわっていきけるようになるとすばらしいと思う。		地元の人たちの手で美しくすることはいいこと。一方で、業者としては価格を下げてでも受注したいと思うようになるのでは。	成年後見の普及についても予算化していたらもっといいのにと考えた。	冊子を有料にしたら買うと思うので、それを収入に充てるとさらにいいと思う。	フロアからもいい意見が出ると思うので、1つくらいは聞いてみては。			とてもよかった	エネルギーもらえた
8	男	60							みたい	市役所の予算枠があるのでこれの有効に利用できればと思う。		とてもよかった	いろいろな意見が聞けたので
9	女	60	情報誌による各種イベント等の企画を多くおこない、この中から自主的な団体を育成していく方向も大事ではないか。特に会社人間だった男性は地域活動の中に入り込めない要素がある。	孤立しがちな子育てママ達を仲間づくりのなかで連携させることは良いことだと思う。しかし、自分たちで組織を作ったりすることは苦手の人達が多いと思うので、そのノウハウを伝えてほしい。	団体への業務委託という感じが強い。	人件費が報償費に変わったのは納得できるが、協働事業が終わった後の取り組みが一考だと思う。	聞き取り調査の結果を冊子すること市民に長崎の良さを伝える機会だと思う。しかし、長崎を舞台にした冊子は数多く発行されているので、他との違いをはっきり出してほしい。	協議事業として提案できる課題が見つければ提案したい。市民への要求書類がもっと簡素化されれば提案しやすい。				他団体の取り組み状況がよくわかり、参考になった	
10	女	40	60代の方は地域活動の担い手としても期待が高いと思うので、例えば退職される前に会社などでも読んでもらおうと団塊シニア世代の方より少し後の世代の方へもアプローチが出来るのではと思った。退職してしまうとなかなかたたくさんの方に知ってもらうことが難しくなると思う。	子育て家庭を支援することは大切だが、どうしても用意された場に集まるだけで終わってしまったりその後自分たち同士で支え合うことや次の世代をさせることにつながらなかったのが、この事業によってまずは自分たち同士で集まるのが始まったと思う。少しずつこのようなサークル活動が広がることで地域の中で4~5才の子どもの母親サークルが1~2才の子どもの母親を支えるなど代代的なつながりになっていくと思う。	一次審査会の時よりも具体的になり実現性も高くなったと思う。若い世代に健康や病気について周知することは難しいと思うが、実は健康ブームでTVなどでそういう番組が増えていると思う。ただCKDについての話題はまだ少ないので、メディアも活用しながら事業を進めていくと効果が高いと思う。	地域の課題として林道の整備を掲げ、それに対して地域自らが手を挙げていることは大変すばらしい。現在地域活動や課題解決に向けた取り組みに対する支援のあり方を検討しているところなので今後の方向性を含めて担当課と情報共有を図りたいと思う。	成年後見制度の必要性が高くそれも年々高くなっていると思う。ただし、市民の認知度や関心は必ずしも高くない、なかなか興味も持ちにくい内容だと思う。しかしながら、誰もがその可能性も持っているの、なんとかこの制度を市民が自分のこととして認識できるように周知の工夫をしていただきたい。地域での高齢者の見守りは今後ますます必要になってくるので、この制度を知って早めに対応ができるようになることを期待する。	ほぼ毎年参加していますが年々団体さんも職員も協働に関する意識が高くなってきているように感じる。行政と団体と地域がつながればいろいろなことができるような気がする。地域の一員として、少しずつできることからつながりを作っていきたいと実感する。					

2012/10/28 長崎市提案型協働事業 中間報告・2次審査会 アンケート集約

性別	年代	事業名					提案型協働事業に関する意見・感想	提案して…		参加して	
		団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業	地域のおもちゃ箱発掘事業	慢性腎臓病 (CKD) 予防普及啓発事業	現川町地域の活性化に向けた美化推進事業	市民後見人の候補者養成および成年後見制度普及事業		まちなか魅力新発見事業	感想	理由	感想
11	女	団塊の世代という大変限定された対象に向けての情報紙ということで有用であれば、今後有料にしても継続は可能なのでは。行政と協働ということであれば、団塊世代が社会でなすべき役割というオピニオンリーダー的役割も担ってほしい。	大変有意義な活動で今後も市内広域各地点で活動を展開して行ってほしい。参加者が小さなサークルを作る手法もすばらしいと思った。地道に続けて行く中で、子育て終了世代も応援団としてまきこんでいてほしいと思う。	市民目線・意見を意見交換会を行うということ、入れるということでしたが、CKD当事者等の意見も入れるのか疑問。	地域密着の協働で行政と地域共に関係を築くことができればいい。	後見人を必要としている方は高齢者だけでなく、障害者もいると思う。そのような方も対象にされるのか疑問。					
12	男	70	情報紙の発行に重点おいており、その先どのようにデビューを支援するのか不明確。	若い子育てママの地域における広がりをもての活動は理解した。遊び方を通じて何をひろげたいのか不明。	行政提案としては理由が弱いと思った	協働事業として事業実施しても効果に疑問	受講者の後見人受任への動機づけは大きな課題	行政手続き、事務になれた感じ		事業費に対して審査パスまでの時間、労力の過大な負担が大きすぎる	
13	女	50					市と協働することでモチベーションが上がるというのは確かにそうだと思う。体験談と専門家の話はどちらも大事だと思う。	長崎の街を好きになる市民の方を増やして、観光のアピールをしていくことはとてもいいことだと思う。調査研究に終わらず、それをどう生かすかということも具体的に詳しく知りたい。	途中から参加したが、こんな場を増やしてもいい、もっと勉強させてほしい。まず市民がやってみるといふ基本的な姿勢がとても大事だと思う。委員長の話は特にわかりやすかった。	今はまだ考えていないが将来提案できる会に成長できたらいいと思う。	よかった
14	男	50					字ばかりが多くて訴えるものが弱く感じた。事業の内容はすごくいいし、高齢の方はいづれ亡くなるため、その前に色々聞くことはいいと思う。データについてはきちんと整理し、活用してほしい。	初めて参加した。途中参加だが、団体のプレゼン力にはびっくりした。			
15	男	30	団塊世代の集いの場を設けることは良いことと思う。単なる情報発信でなく、集まった人たちすべてが満足感を得られるように活動を続けて欲しいと思う。	子育て中の保護者同士が集まって情報交換を行っていくことは重要と思う。今後も更に遊びを通じて子育ての輪が広がれば良いと思う。	イメージキャラクターをつくり、わかりやすく具体的にCDKに対する周知を行うことは、聞く方にも受け入れられやすいのでは。腎臓病の生活習慣病全般にも広がれば良い。	住民同士が積極的に美化活動に参加し、事業を推進していることが今後の課題ではないかと思う。どれだけの人が、興味を持ち、参加するのが6つの事業の中では、一番不透明。					

2012/10/28 長崎市提案型協働事業 中間報告・2次審査会 アンケート集約

性別	年代	事業名						提案型協働事業に関する意見・感想	提案して…		参加して	
		団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業	地域のおもちゃ箱発掘事業	慢性腎臓病（CKD）予防普及啓発事業	現川町地域の活性化に向けた美化推進事業	市民後見人の候補者養成および成年後見制度普及事業	まちなか魅力新発見事業		感想	理由	感想	理由
16	男	30						協働という形での取組で、効果的進めることができる事業提案、プレゼン内容となっていた。				
17	男	30	団体と行政とのやりとりの数や中身の濃さが非常に伝わった。						みたい	やりがいがあり、また楽しいと感じる協議時間を過ごせた。	とてもよかった	たくさんの時間を一つのテーマで話し合えた
18	女	30	ニーズ把握・検証についてアンケートの代替として有力な手段が見つかるのが心配。	新たな試みで、一定成果もあり、今後も期待できる。	人工透析には、多額の医療費助成を行なっているため、助成額減にも期待できる。							
19	男	50	実績として成果物が残ることは、とても良いと思う。知名度もUPしていることはすばらしい。	おもちゃという大人も子供も楽しく遊べるツールに着目されることに感心した。					みたい	行政の目的、考えがよく分かるため。民間だけでは出来ない活動が可能となるため。	とてもよかった	
20	男	60		開催地域の拡大が必要だが、拠点を作り、悩みをか抱える仲間が集まれるようなサークル活動の確保が必要と思う。	キャラクター、アニメ開発、意見交換会だけを絞るのではなく、「検診を受ける」へ導くシステムを作るべきではないか。市民協働事業ではなく、民間会社への委託事業でも良いのでは。							
21	女	50						この機会を紹介してくれてありがとうございました。	みたい	私の中にも「テーマ」がある	とてもよかった	イメージが具体化される事につながった。
22	男	60						審査会、報告会はまだ少し簡素化できないか？				